

令和7年度 花ノ木小学校の教育

【経営理念】 学校は、幸せになるための場所である

「幸せになるための場所」には、二つの意味がある。「今、楽しいと思える場所」、そして、「卒業後、充実した人生を過ごせるように力をつける場所」。

「今の幸せ」と「未来の幸せ」のために、学校・家庭・地域がつながり、子供の成長を共に喜び合いたい。

【経営方針】 子供の笑顔を第一に考え、誰一人取り残さない教育を進めます

- 笑顔と対話を大切にし、やりがいとつながりのある職場づくりに努めます。
- 学校・家庭・地域をつなぎ、地域ぐるみで子供の健全育成に取り組みます。

【教育目標】

校訓「明るく 仲よく 力いっぱい」のもと、知・徳・体のバランスのとれた健全な子供の育成を目指し、『心豊かで、元気な花ノ木っ子』を育てる

- めざす学校像 笑顔あふれる「幸せ」な学校
- めざす子供像 心豊かで元気な 花ノ木っ子
- めざす教師像 笑顔とやる気で切磋琢磨する教師集団

【重点努力目標】 楽しくて力のつく授業づくり（授業での「本気」の姿を求める）

1 生活習慣 ～地域の「ひと・もの・こと」を活用した^{けんこう}健幸教育～

「健幸」とは「健康」と「幸せ」の造語。子供には、健康で生き生きと学校生活を送ってほしい。学校・家庭・地域と連携し、生活習慣、体力づくり、食育、防災教育などを進めます。

2 正しい言動 ～子供の主体性を大切にした学校・学級での活動～

あいさつ、整理整頓、廊下の歩き方など、当たり前のことを当たり前にできるようになってほしい。子供の主体性を大切にした児童会や委員会の活動、学級での係活動などを充実させます。

3 働き方改革 ～子供と向き合うための業務精選や行事の見直し～

教師が、元気で笑顔でいることは、子供にとって大切なことである。教師の多忙化を軽減し、授業の準備や子供と向き合う時間を確保するために、業務精選や行事の見直しを行います。

4 楽しくて力のつく授業 ～教師の授業力向上を目指す取組～

「やってみたい」、「こう考えればいいのか」、「えっ、どういうこと？ こんな考えもあるんだ」、「わかった、できた」・・・、子供の学ぶ力を育みたい。教師の授業力向上に関する研修に努めます。

今年度のテーマは、「本気」（一生懸命は かっこいい）